

(英語版)

(アラビア語版)

(目次)

見果てぬ平和 ― 中東の戦後75年 (百十九)

第五章：二つのこよみ(西暦とヒジュラ暦) (五)

百十九 ヒジュラ暦千四百年(西暦千九百八十年)前後(二―五)



西暦六百二十二年七月十六日に始まったヒジュラ暦は西暦千九百七十九年十一月二十一日にヒジュラ千四百年一月(ムハッラム月)一日を迎えた。ヒジュラ暦十四世紀最後の年である。ヒジュラの十四世紀は西暦千八百八十三年に始まっている。前回説明した通りヒジュラ暦の一年は西暦より十一日前後短いから一世紀の長さも西暦に比べ4年ほど短いことになる。

十九世紀以前キリスト信仰が篤かった西欧諸国では一世紀の終焉に対する畏怖心、恐怖心が様々な迷信を呼び起こしたが、二十世紀近代科学の時代になるとさすがにそのようなことは無くなり、西暦千九百九十九年から二千年に暦が変わる時にコンピューターの「二千年問題」が騒がれた程度である。

(続く)

荒葉 一也

E-mail: [Arehakazuyal@gmail.com](mailto:Arehakazuyal@gmail.com)